

## 広島高速5号線に係る住民説明会の開催結果について

### 1 要旨・目的

広島高速5号線シールドトンネル工事に係る住民説明会の結果について報告する。

### 2 現状・背景

シールドトンネル工事については5月24日に牛田地区の掘削が完了し、引き続き早期完成に向けて工事を推進している。また、5月8日に学識経験者で構成する施工管理委員会を開催し、牛田地区掘削完了後における地表面変位の収束判断に係る評価方法等について審議を行い妥当と判断された。

### 3 概要

#### (1) 対象者

—

#### (2) 事業内容（実施内容）

##### ア 公社、県、市による牛田地区住民説明会の開催

- ・6月16日(日) 10:00～12:40 (牛田東三丁目集会所) 出席者：住民25名
- ・6月17日(月) 18:30～20:00 (牛田東三丁目集会所) 出席者：住民5名

##### イ 主な説明内容

- ・牛田地区通過後の一定期間の計測方法と収束判断の評価方法について
- ・補償について

##### ウ 住民からの主な意見等

質問・意見	回答
・地表面変位の収束判断は、道路上にある計測点の変位のみで判断するのではなく、宅地の変位が収束していることを確認することが必要である。	・道路上にある複数の計測点の変位を確認することで、地区全体を面として捉えて収束判断することが可能と考えている。収束判断後も概ね10年間事後計測を行い、建物等に不具合があれば状況確認等を行う。
・騒音、振動等の被害があったにも関わらず、補償をしてもらえないのではないかと不安がある。 ・過去の意見交換会で知事が発言した補償に対する姿勢が公社に見られない。	・地域住民と県、市、公社が締結した調停を踏まえ、誠意を持って適切に対応する。 ・今後家屋調査を行って因果関係を判定し、その結果を踏まえて適切に対応する。 ・公社の考えは知事の発言と齟齬はない。 ・引き続き、住民代表と公社、県、市との「協議の場」において、議論をしていく。

#### (3) 予算（単県）

令和6年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 645百万円

#### (4) 今後の対応

- 住民代表と公社、県、市との「協議の場」を引き続き定期的で開催し、補償の考え方等について丁寧に説明し、住民の声に耳を傾けながら誠意を持った対応に努めていく。
- 引き続き、安全・安心を第一に掘削を進めるとともに、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、事業主体である公社や広島市と連携し、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。